

2026年度事業計画

(令和8年1月1日～令和8年12月31日)

1. 事業実施の方針

子どもの心に寄り添い心を受けとめ生きる力を支援する活動の充実と発展を図る。

- ① 電話とチャットで子どもの声を受けとめる。
- ② 受け手と支え手の資質の向上とモチベーションの維持を図るために定期的な研修を必修とする。
- ③ 全国のチャイルドラインと協力体制をとり情報を共有し運営や研修に生かす。
- ④ オンライン養成講座を開催し受け手を養成する。
- ⑤ チャイルドラインとちぎの運営指針に基づき新たな運営のあり方を創造する。

子どもの権利条約に保障された子どもたちを支える社会環境をつくるために地域社会に提言活動を行う。

- ① チャイルドライン支援センターに協力し全国のチャイルドラインとともに全国的な規模で受けとめた子どもたちの声を社会に発信していく。
- ② 広報誌や実施報告書を発行し広報普及に力を入れる。
- ③ 公開講座を開催するなど、広く一般の方に「子どもの現状」の理解を広める。

2. 事業の実施に関する事項

	事業内容	実施日時
1 研 修 事 業	子どもの声を聴く事業の実施	電話毎週月・金・第2日・第3土曜日 16時～21時 チャット 毎週火曜日 16時～21時 ネット電話 毎週月曜日 16時～18時半 ※曜日時間等は変更する場合もある
	継続研修	①3月 オリエンテーション ②4月 「子どもの現状」 「子どもとのチャットの注意点」 ③6月 「現地研修」 ④7月 「発達障害」「子どもの犯罪の背景にあるもの」 ⑤8月 「困った電話丸っと解消！」 ⑥9月 「ヤングケアラーの現状」「発信できない気持ちを聴く」 ⑦10月 「オリエンテーションで出た案」 「子どもと関わる仕事から見えてくるもの」 テーマは変更になる場合あり
	エリア研修	オンラインで開催予定 時期未定
	支え手会議(研修)の開催	年2回 6月11日 12月10日 (第2木曜日)
	子どもたちに配布するカード・ポスターの作成と広報	年間約20万枚のカード配布 (県内全域の小学校・中学校・高等学校等)
	公開講演会の開催	公開講座 SNSトラブルについて (予定)

2 啓 発 事 業	広報普及	実施報告書の発行 5月 広報誌の発行 1月・7月
	啓発のためにイベントを主催	チャリティゴルフコンペ 5月4日(日)
	啓発のためにイベント等に参加	① フェスタ My 宇都宮 5月17日(日)・ふれあいフェスティバル 11月 ② 子ども虐待をなくそう県民のつどい ③ サンタ de ラン 12月 ④ つながりサポートネットワークに参加協力 ※その他状況に応じて参加する

< 財 政 >

実施報告書や広報誌等の有効な活用を図り、県内企業や個人の賛助会員についても、計画性を持って積極的な働きかけを継続的に行っていきたいと考えます。

チャイルドラインの意義を広報しながら寄付を募ることを会員一人ひとりが自覚をもって取り組む。

< 研 修 >

受け手・支え手を継続していくには、継続研修の参加が必須になります。

SNSを中心としたコミュニケーション手段、生成AIや多様なメディアの発展など、取り巻く環境が目まぐるしく変化する子どもたちの気持ちを丁寧に受け止めていくためには何が必要かを考え、受け手・支え手のスキルアップ研修を企画していきます。子どもを支える活動現場の訪問や、チャイルドラインとちぎがお手伝いする子ども参加型のイベント等も、継続研修の一環とし、皆さんの参加を仰ぎたいと思います。

また、研修は皆さんの不安や迷い、嬉しさや楽しさを分かち合う場でもあります。講座中のワークやイベントのお手伝いの中で、会員の皆さん、子どもたちとのコミュニケーションで得た気づきを、皆さんの継続的な活動に繋げていただくと嬉しいです。

< 広 報 >

情報のデジタル化が一般的になる中、SNSによるシフトや研修等の発信をしておりますが、ご不便はないでしょうか？また改善点などがありましたら遠慮なく事務局までお知らせください。加えて私たち大人がSNSを駆使する子どもたちを取り巻く環境や気持ちを考えるきっかけになればと思うこの頃です。チャイルドラインでは、ホームページをはじめ、X、フェイスブック、インスタグラムなども行っています。一人でも多くの会員の皆様にも興味関心をもっていただけるように、タイムリーな情報を積極的に発信していきたいと思っておりますので、隙間時間などにアクセスしてみてください。また、情報の発信にご協力いただける方も随時募っておりますので、理事や事務局にお気軽にお声かけください。

子どもたちへの発信として、チャイルドラインをより身近なものとして感じてもらえるように、例年通りカード配布やポスターの掲示などに尽力いたします。

また社会発信としては、いろいろな交流会やイベントなどにも積極的に参加したいと思っております。イベントは子どもたちにチャイルドラインの存在意義を直接伝えることができる貴重な機会ですので、どうぞ無理のない範囲で結構ですので、力を合わせて広報活動をしてみませんか。参加することで会員間の親睦が図れ、新たな出会いや発見があるかもしれません。きっと有益な時間になることでしょう。そして次回のイベントで子どもたちとの関わりに期待が膨らむかもしれません。一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしております。

尚、広報誌は、第40号・41号の発行を予定しています。